



オアシス

文責：学長
桑原雅次

出雲芸術アカデミーだより 2022年7月17日発行 第51号

7月上旬といえば例年なら梅雨真っ盛りですが、今年は6月末にさっさと梅雨明け宣言がありました。その後、雨量が少なく蒸し暑い日が続き、水不足で悩む農家の皆さんに影響があるかと思えば急な豪雨の襲来で災害が心配されるなど、最近の天候不順が私たちの生活を脅かすようになってきていることが懸念されます。

本アカデミーは、遅れていた本科のオーケストラコースの通常講座が6月からスタートし、全講座が揃って開講しています。また、「交響神楽プロジェクト」が立ち上がり、来年10月開催の『連作交響神楽』第六番〈國譲〉公演に向けて、様々な企画が計画されました。公演成功に向けて関係者が一丸となって取り組んでいきたいものです。

◎ 「交響神楽」プロジェクトがいよいよ最終章！

出雲市芸術文化振興財団では、「出雲の春音楽祭」において、作曲家で本アカデミーのコンポーザーインレジデンスも務める平野一郎氏による出雲神話をモチーフとした『連作交響神楽』（財団委嘱7作品）を、平成28年度から上演してきました。

その連作交響神楽が最終章である第六番〈國譲〉をもっていよいよ完結することとなります。〈國譲〉の公演は、平野氏が「神在月」の10月開催を希望されていることもあり、2023年10月29日に実施し、曲目の構成が壮大であることから、出演人数もオーケストラと合唱で200名は軽く超える規模のステージ配置となります。従って、準備にも相当の日数がかかることと、地方都市出雲においては出演者の確保にも苦労することが予想されます。

よって、今年度から〈國譲〉公演を想定し計画的な仕組みづくりが必要だと考え、交響神楽プロジェクトが立ち上がりました。その内容は、「次代に繋ぐ人材発掘」を想定した公演と、「神話の世界に誘う」セミナーというもので、第1弾として「出雲フィルハーモニー交響楽団第25回定期演奏会」を9月19日に開催します。テーマは「iPhil de コンチェルトー未来につなぐ音楽神話ー」を掲げ、コンチェルトのソリストは人材発掘の観点からも広く公募し、先ごろオーディションが実施されました。オーディションには16名もの応募があり、地方都市の開催であっても多くの若い方々が関心を寄せていることに主催者として大いに喜びました。5名の審査員の方々からも、人材発掘や演奏の機会提供などからとても良い企画であると高評価をいただきました。9月の定期演奏会では、7人の若いソリスト達が出雲フィルハーモニー交響楽団と共に素晴らしいステージにしてくれることを今から楽しみにしています。

今回の公演には、出雲 Jr.フィルのオーケストラも出演いたします。公演には、プロの音楽家、音楽愛好家、出雲芸術アカデミーの受講生とOB・OGが一体となり、全国でも



裏面へ

珍しい取り組みである本アカデミーならではのステージにも期待がかかります。

出雲の春音楽祭 未来の伝統芸術を創る交響神楽プロジェクト いよいよ最終章

- 1 出雲フィルハーモニー交響楽団第25回定期演奏会（次代に繋ぐ人材発掘／器楽セクション）
2022年（令和4年）9月19日（月・祝）14:00 開演
出雲市民会館 大ホール 音楽監督・指揮／中井章徳
- 2 出雲オペラ神在ガラコンサート（次代に繋ぐ人材発掘／声乐セクション）
2022年（令和4年）10月30日（日）14:00 開演
ビッグハート出雲 白のホール 音楽監督・指揮／中井章徳
- 3 出雲神話ってなあに？（神々の世界に誘う／セミナー）
2022年（令和4年）12月3日（土）開演時間調整中
大社文化プライスうらら館 だんだんホール
講師：考古学者/平野芳英 作曲家/平野一郎 指揮者/中井章徳
- 4 iPhil 特別演奏会（『連作交響神楽』第六番〈國譲〉世界初演！）
2023年（令和5年）10月29日（日）14:00 開演
出雲市民会館 大ホール 音楽監督・指揮／中井章徳



◎ LPレコード音楽サロンが始まりました！

昨年度から新事業として始まった「LPレコード音楽サロン」が、今年度も引き続き開催されることになりました。先般2月開催の音楽サロンは、やむなく中止いたしました。その時に予定していたプログラムを「第5回LPレコード音楽サロン」として、先ごろ開催したところです。今年度のテーマは『ブラームスとロマン派の音楽』です。ブラームスの作品が中心となりますが、ブラームスが活躍した時代に関係の深いロマン派の音楽も紹介していきたいと思っています。

第5回LPレコード音楽サロンでは、メイン曲にブラームスの作品「交響曲第1番」を配置し、また、当時はロッシーニの歌劇が全盛期でしたので、ロマン派の始まったころの時代背景として、歌劇「ウィリアムテル」序曲を選曲いたしました。そしてもう1曲、シューマンの作品「ピアノ協奏曲」から第1楽章です。ブラームスの師であるシューマンは、若きブラームスの才能を発掘し、世に送り出した功労者であることから選曲しました。今回の企画でロマン派の音楽を紹介するにあたっては、中井芸術監督のアドバイスによるところが大きかったことを申し添えます。また、使用機器については、今年度もオーディオショップ・フクダ様のご理解とご協力により開催できますことを深く感謝します。

今後の開催は、8月、10月、12月、令和5年2月に予定しています。また、8月と12月は、「大社文化プレイスうらら館」での開催です。会場が変わるとまた違った雰囲気になることと思いますが、楽しみにしていただけたら喜びます。



【このたよりは、本アカデミーホームページでも掲載します <https://www.izumo-zaidan.jp/academy/>】